

## I 活動方針

今年の日本経済は挑戦の年となります。第一の挑戦は言うまでもなく東日本大震災からの本格復興。第二はグローバル化への本格的な取り組み、T P P（環太平洋戦略的経済連携協定）の交渉開始に加え、E U（欧州連合）や韓国とのF T A（自由貿易協定）でも進展が予想される。第三は世界最速で進む高齢化への取り組みです。団塊世代が今年65歳になります。ということは、医療や介護の需要が大幅に増える後期高齢層（75歳以降）に入るまであと10年しかありません。それへの備えは時間との闘いであり、地域社会全体で取り組まなければならない課題です。

今後、T P Pなどの経済連携協定締結により中小企業の国際展開を強力に後押しすることが期待されますが、同時に高いレベルの経済連携と両立できる強い地域経済対策の実行が必要です。交渉では影響を極小化しつつ、守るべきところはしっかり主張して国益の最大化を図らなければなりません。政府には強い交渉力を発揮できるよう万全の態勢で臨むことを求めるとともに、商工会議所として農工商連携などによる6次産業化や国際展開を支える企業力の向上、観光振興などを含めた地域活性化に、日本商工会議所や阪神間4商工会議所などと連携をとりながら全力を傾注いたします。

世界的に経済は混沌とし、政治はリーダーの交代が主要国で行われます。このような時期に日本商工会議所が日本経済の方向を誤らないようにしっかり舵を取り、県下商工会議所並びに阪神間商工会議所は地域連携でしっかり結びつき、宝塚商工会議所は会員の互助互恵の団結力でこの難局を乗り切らねばなりません。

東日本大震災は国民生活や日本経済に深い傷跡を残しながらも、日本人の行動力、人の繋がり力をあらためて示すことになりました。また、高齢化は雇用体系を根本から見直すことで一縷の光明がみえる可能性もあります。これらの課題に挑戦する原動力は「連帯する精神」まさしく商工会議所会員の手で地域を元気にすることです。「だいすき宝塚」推進運動～みんなの手で宝塚を元気に～の真髓がここにあります。

わが国は戦後最大の危機を迎えていると言っても過言ではありません。我々商工会議所会員は幾多の困難にも打ち勝ってきた先達に倣い、現代を生きる私たちもこの国難に打ち勝つ底力を有していると確信しています。会員の皆様も趣旨ご理解をいただき、事業者の結集につきご協力とご尽力をお願いいたします。

## Ⅱ 重点事業

(策定方針)

これからも つなぐ むすぶ 宝塚商工会議所

### 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

- (1) 「宝塚市産業活性化推進会議」の運営
- (2) 新名神高速道路に係る経済効果の調査・研究

### 2. 産業活性化策の積極的推進

- (1) 地域活力増進事業の推進
  - ① だいすき宝塚推進事業「ワンコイン de スタンプラリー2012」の実施
- (2) 創業・起業支援事業の促進
  - ① やさしい起業セミナーの開催
  - ② 「地域ビジネス創出支援講習会」の開催
- (3) 労働環境対策事業
  - ① だいすき宝塚推進事業「宝塚文化を活用した労働環境改善支援事業」の実施

### 3. 組織の基盤強化

- (1) 会員増強運動の展開

### 4. 「だいすき宝塚」推進事業の企画・推進

- (1) 「だいすき宝塚」事業推進委員会の運営
- (2) 「ワンコイン de スタンプラリー2012」の実施
- (3) 「宝塚文化を活用した労働環境改善支援事業」の実施
- (4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施
- (5) 「観光振興」の調査研究
- (6) 「だいすき宝塚」全体支援事業の企画

## 1. 宝塚経済活性化の政策・要望活動の積極的展開

### (1) 「宝塚産業活性化推進会議」の運営

～経済活性化常任委員会

「宝塚産業活性化推進会議」の協議を踏まえ、企業立地・誘致策や北部開発等地域課題を総合的に整理することを目的とし、経済活性化常任委員会において研究、各部会で検討議論する。

### (2) 新名神高速道路に係る経済効果の調査・研究

サービスエリア等の設置に係る経済効果を関係機関と協調して調査・研究。

## 2. 産業活性化策の積極的推進

### (1) 地域活力増進事業の推進

#### ① だいき宝塚推進事業「ワンコインdeスタンプラリー2012」の実施

～経済活性化常任委員会

昨年度実施内容を検討の上、会員より事業内容の継続並びに拡大要望が多くあり、その声に応じて実施する。事業の根底に流れる、地元の再発見と地元消費を促進させること、ひいては「お買い物は宝塚で」運動を強力に推進する。

事業の中核をなす事業としてスタンプラリーを実施し、期間を限定してイベント的效果を担う。小規模零細な事業所単独では実施が困難な「ワンコイン」事業を、様々な商材やサービスを商工会議所が一堂に集め紹介、参加店で「ワンコイン」商品等購入ごとにスタンプを集め、一定の数により抽選に参加することができる内容。後日抽選により会員事業所の賞品を得る、事業の付加価値を高めることや市内産品等の普及に努める事業を実施する。

### (2) 創業・起業支援事業の促進

#### ① やさしい起業セミナーの開催

～中小企業相談所

起業者向けセミナーを7月と3月に開催（年2回、1回あたり4日間）。起業に対するモチベーション向上を図るとともにフォローアップを行い宝塚での開業・会員加入促進をめざす。

#### ② 「地域ビジネス創出支援講習会」の開催

～中小企業相談所

起業・創業関連のセミナー受講経験者や地域ビジネスをめざすコミュニティ等に、起業に向けてのより実践的な支援を目的として実施。特に、開業後に陥りやすい問題やその対処方法について学び、持続可能な経営を支援するために開講する。

### (3) 労働環境対策事業

#### ① だいすき宝塚推進事業「宝塚文化を活用した労働環境改善支援事業」の実施

～会員福利厚生常任委員会

宝塚文化の中核である「宝塚歌劇」が何故世界的な評価を得るようになったのか、また、創立100年の歴史を刻むことができたのか。これらを達成するために、多くの人々が舞台芸術を支え、歌劇生の努力もさることながら経営者からファンに至るまでが「人材」から「人財」へと支える姿を体感する講習会。

経営者だけでなく従業員や顧客（ファン）までを満足するプロセスを学ぶとともに、宝塚の誇る文化も合わせて学ぶ事業として実施する。

### 3. 組織の基盤強化

#### (1) 会員増強運動の展開

本年は商工会議所事業に多くの参加を募ることに主眼を置き、通年で地域に活動の浸透を図る。組織全体で会議所活動への参加を促し、結束力により地域経済の浮揚を促進する。キーワードを「宝塚を元気に」とし、商工会議所への参集を会員から非会員へと広め増強運動を展開する。

### 4. 「だいすき宝塚」推進事業の企画・推進 ※(2)、(4)は前年度より継続

(1) 「だいすき宝塚」事業推進委員会の運営

(2) 「ワンコインdeスタンプラリー2012」の実施

※前掲参照

(3) 「宝塚文化を活用した労働環境改善支援事業」の実施

※前掲参照

(4) 「すまい・るネット宝塚」事業の実施

(5) 「観光振興」の調査研究

(6) 「だいすき宝塚」全体支援事業の企画